



幼小中一貫教育推進だより



明日香幼稚園の郷土学習

「基礎的な言語力」「郷土学習」「英語教育」の中から今回は、「郷土学習」について紹介します。

【郷土学習】（明日香春の探検）

明日香幼稚園は、毎年春と秋に明日香の探索（園外保育）を行い、明日香の豊かな自然や歴史に触れながら楽しく学んでいます。

3歳児は、幼稚園周辺を散策したり、池の鯉に餌をあげたりしました。4、5歳児は、猿石や岩屋山古墳の見学などを行いました。子どもたちは、チョウや草花を見つけて明日香の春を感じたり、史跡に触れたりしながら、興味を深め、さまざまな発見を楽しみました。また、友達や先生と一緒に活動する中で、自分で見つけ、感じ、考える体験を重ねることができました。

子どもたちの成長は一人ひとり違います。幼少期には、「遊び」や「体験」を通して豊かな感性や思いやりを育みます。「学ぶ力」を大切にしながら、様々な活動に取り組んでいます。

そのほかにも、里山クラブとの「オオムラサキとのふれあい会」や、「明日香わらべ太鼓」などの活動を通して、子どもたちは村の自然や文化を豊かに親しんでいます。



集まってきたよ！



裏にも顔がある！！

南都明日香ふれあいセンター犬養万葉記念館 七夕の夜空を見上げて

織女し 船乗りすらし まそ鏡
清き月夜に 雲立ち渡る

（巻17・3900 大伴宿禰家持）

織姫が舟に乗って漕ぎ出したようだ。真澄の鏡のように清らかな月夜に、雲が立ち渡っていく。

天平十年（七三八年）旧暦七月七日の夜、大伴家持が天の川を仰ぎ見ながら詠んだ歌です。

七夕伝説は奈良時代に中国から伝わり、日本にもともとあった「棚機（たなばた）」という神事や風習と結びつきながら、貴族から庶民へと広まっていたといわれています。

また、短冊に願い事を書く風習は、機織りや裁縫が上手な織姫にあやかり、技芸の上達を願ったことが始まりとされています。現在では願い事の内容もさまざまになり、七夕の楽しみ方も時代とともに変化してきました。

一首の歌を少し掘り下げてみると、その背景にある文化や行事の由来、人々の暮らしぶりを知ることができます。そうしたことを通して、千年以上前の万葉人とのつながりを感じられるのも、万葉集の魅力の一つではないでしょうか。

万葉人も現代人も、七月七日の夜には空を見上げ、形は違いますが万葉人は歌で、現代の私たちは短冊やSNSで想いを表現する。今年の七夕も、きれいな天の川が見られるような夜になるといいですね。

【Youtube】ナラコミ、ナラじまんチャンネルにて、当館と併設のCafé de Manyo! をご紹介いただきました。下記の二次元コードを読み取り、ぜひご視聴ください。



▲動画はこちら

- ・開館時間 10時～17時
- ・カフェ営業時間 11時～16時
- ・休館日・定休日 月曜日（祝日の場合は翌火曜日）

☎54-9300 WEB:<http://inukai.nara.jp/>